■■　野鳥のことを、みんなで考えよう　■■

空を自由に飛んでいる野鳥たちには、実はいろいろな危険が待ちかまえています。

建物のガラスと衝突したり、車とぶつかったり、風力発電の風車に切られたりして、毎年たくさんの野鳥の命が奪われています。
さらに、密猟者によって違法に捕獲された鳥たちが町のペットショップで売られていることも多く、ワシントン条約によって保護をされている絶滅危惧種の鳥類の輸入では１３万羽と日本が世界で一番多いのです。
最近では野鳥への関心が高まりバードウォッチングが盛んになりました。たくさんの方が野鳥に興味を持って頂くのはとても好ましいことです。しかし反面、バードウォッチングのマナーが悪くなり、地元の方とのトラブルが起こったり、珍しい鳥を見るために、たくさんの人が集まり過ぎて雛を育てることが出来なかったという事もあります。

さらに、離れ島ではかすみ網を使った鳥類標識調査も行われています。かすみ網という特殊な網で野鳥を捕まえて金属製の足環を取り付ける調査です。疲れ切った鳥たちを捕まえると簡単に死んでしまう事もあります。足環をつけられた鳥たちが再び捕まえられる事によって、その鳥が移動した距離とか期間がわかるのですが、離れ島で足環をつけられた鳥たちが再び捕まることは、ほとんどありません。四十数年間、年間約 4,500 万円の税金を投じて行われる環境省の鳥類標識調査が野鳥の保護や環境保護に役立てられた事は一度もありません。問題と矛盾だらけの現行の鳥類標識調査の制度は、一旦ストップして見直すべきではないでしょうか。

一見、自由で平和そうに見える野鳥たちには、たくさんの危険が待ち受けています。さあ、みんなで野鳥のことを考えましょう。

「バンディングって、なに？」http://blog.livedoor.jp/makisan71/

(野鳥をかすみ網で捕獲して足環をつける標識調査を「バンディング」と呼びます)